

使徒 8 章 26-38 節 「喜びにあふれて」

「聖書が分かる」とはどういうことでしょうか。聖書は、ただの遠い昔に書かれた古典や伝記ではありません。今ここにいるわたしたちに、生きておられる神が語りかけて下さる御言葉です。そこには、神のわたしたちへの思いと、御心が示されています。今日の聖書の箇所では、一人のエチオピアの宦官が、その神の御心を知り、主イエスの救いにあずかり、信仰を得て洗礼を受けたことが書かれています。神の救いの実現とはいっつ起こるのか。恵みの業はどのようにして現れるのか。宦官は、馬車に揺られてイザヤ書を朗読しながら、自分の国へ帰ろうとしていたのです。当時、聖書を読む時には皆声を出して朗読をするのが一般的だったのです。

さてサマリアで伝道していたフィリポに、主の天使が現れて言いました。「エルサレムからガザへ下る道を行け」。たった一人の宦官に救いを知らせるために、神はフィリポを遣わしたのです。そして 29 節にあるように、「読んでいることがおわかりになりますか」として、宦官に福音を伝えたのです。宦官が朗読していた箇所は、イザヤ書 53 章 7～8 節でした。宦官は、この「彼」とは誰かと尋ねました。フィリポは、「この彼とは、イエス・キリストのことである」と答え、主イエスの福音を告げ知らせたのです。神が遣わされた、神の御子主イエスは、弱々しい人となり、すべての者の罪を負って、卑しい姿になられ、苦しみを受け、十字架へと向かわれ、殺された。ご自分の命によって罪人に赦しを与え、神の救いの御業を実現されたのです。これが、まさにイザヤ書が預言している救い主のお姿でした。主イエスによって、このイザヤ書の預言は成就したのです。そうして、神の望まれることを成し遂げられた救い主のもとに、新しい神の民が集められます。もはや神の民とはユダヤ人のことだけを指すのではなく、主イエスを信じて、主イエスに結ばれた者たちが神の民とされます。神の救いはイエス・キリストによって実現し、恵みの業はイエス・キリストによって現れたからです。この方によって、もはや律法によって排除されることなく、異邦人も、宦官も、新しい神の民に入れられる。宦官の喜びはいかに大きかったことでしょうか。フィリポの説き明かしによって、自分に救いを告げ知らせていると知ったのです。

主イエスこそ自分の救い主であると知った宦官は、どうしたでしょうか。彼は、洗礼を受けることを望みました。他にもない「あなたが」信じているかと問われます。これはあなたのための救いだからです。手引きをしてくれたフィリポの姿は見えなくなりましたが、それでも宦官は喜びにあふれて旅を続けました。宦官は、神の民から排除された者から、新しい神の民の一員になりました。主イエスの救いを知らなかった者から、救いを知る者になりました。一人の人が洗礼を受けるとは、本当に、人の思いを遥かに超えた、神の恵みの御業です。わたしたちにとって奇跡です。そしてわたしたち一人一人に、その大きな恵みが与えられているのです。

エチオピアの宦官が、主イエスの福音と出会い、信じて洗礼を受け、行きとは違う、全く新しくされた者となって、喜びにあふれて旅を続けたように、わたしたちも主イエスに結ばれて生きる、全く新しい者となって、主イエスと共に喜びの旅路を歩みだすことが出来るのです。